

1. 件名：「令和元年度破損燃料輸送・貯蔵に係る技術調査（分析試料輸送）」に係る打合せ

2. 日時：令和元年12月12日（木）10：00～12：30

3. 場所：原子力規制庁16階会議室B

4. 出席者

原子力規制庁長官官房技術基盤グループ核燃料廃棄物研究部門

菱田統括技術研究調査官、奥田主任技術研究調査官、福田技術研究調査官、増田技術研究調査官、広瀬技術参与

三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部

機器設計部プラント機器設計課 5名

5. 要旨

三菱重工業株式会社より、配付資料に基づき「令和元年度破損燃料輸送・貯蔵に係る技術調査（分析試料輸送）」の作業経過報告を受けた。評価方針に対して、規制庁よりコメントを出し、今後の作業に反映することとなった。

6. その他

三菱重工業株式会社からの配付資料

- ・ 資料1：「令和元年度破損燃料輸送・貯蔵に係る技術調査」輸送容器の選定結果について
- ・ 資料2：「令和元年度破損燃料輸送・貯蔵に係る技術調査」安全評価項目の感度整理（燃料デブリ分析試料の性状）の結果速報
- ・ 資料3：「令和元年度破損燃料輸送・貯蔵に係る技術調査」安全評価項目の感度整理（除熱、密封）の評価方針について
- ・ 資料4：「令和元年度破損燃料輸送・貯蔵に係る技術調査」安全評価項目の感度整理（遮蔽）の評価方針について
- ・ 資料5：令和元年度破損燃料輸送・貯蔵に係る技術調査（分析試料輸送） 輸送容器の臨界解析条件書
- ・ 資料6：「令和元年度破損燃料輸送・貯蔵に係る技術調査」安全評価項目の感度整理（水素発生量）の評価方針について